

変化する時代でも勝ち続けられるように。

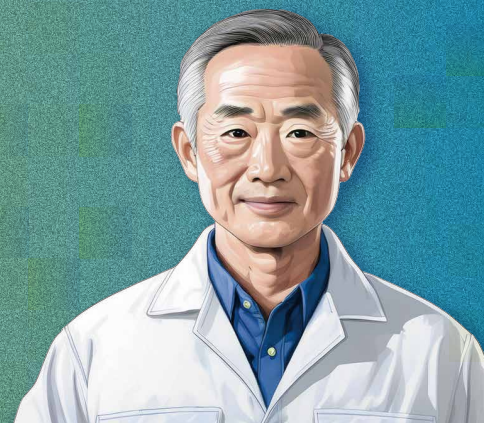
攻めるデジタル



福島から新たな挑戦

守る伝統

事業を守るために、時代に合うように。



福島市デジタル人材バンクでは、デジタル領域の課題を解決する専門家をご紹介します！



お気軽に
ご相談
ください！

福島市デジタル人材バンクは、事業のデジタル化に課題を抱える地域の企業や団体と、デジタルスキルを持つ専門家をつなぐ仕組みです。今回裏面でご紹介するのは、福島市でトマト農園を営むグラニューファーム様の、事業承継を見据えたスマート農業やデジタルの活用事例です。今後、事業承継をご検討している方がいらっしゃいましたら、人材バンクをご活用いただき、事業のデジタル化によって次の世代が事業承継に積極的になれるような仕組みづくりのお手伝いをさせていただきます。

お問い合わせ / 支援申し込み

福島市デジタル推進課

✉ digital-s@mail.city.fukushima.fukushima.jp ☎ 024-572-3943

※お電話の受付は土日祝日を除く、平日の9:00～17:00になります。
※「契約」はデジタル人材と中小企業・団体が締結していただきます。福島市は、「契約」締結に至るまで支援します。



お申し込みは
こちら

福島市にある granyuu-farm(グラニューファーム)は、市内では初めてとなる「アイメック農法」を導入したフルーツトマトの栽培で知られています。多くの農家が後継者不足に悩む中、グラニューファームでは息子さんとその友人が農業に熱意を持って取り組もうとしています。

どうすれば若者に興味を持ってもらえ、農家の後継者を増やしていけるのか。そのヒントをお聞きしたいと、グラニューファームの佐藤正徳さんを訪ね、事業承継を見据えたスマート農業やデジタルの活用事例を伺いました。



通年安定した収入と高単価が見込めるフルーツトマト

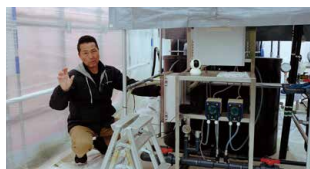
佐藤正徳さん(以下、正徳さん)

私が実家の果樹農家を継いだのは5年前で、それまではサラリーマンでした。果樹農家は一年中仕事はあっても、収穫のときしか収入がありません。果樹の栽培だけでは、今後やっていけるかどうか自信がありませんでした。

そこで、年間通じて安定した収入が得られ、果樹栽培との組み合わせがいいものはなにかと調べて検討した結果、フルーツトマトのハウス栽培が一番合っていると考えました。

フルーツトマトは単価が高く、高付加価値商品であるということも、選んだ理由の一つです。

溶液の流れる量や頻度、ハウス内の温度や二酸化炭素の濃度、日照の管理など、フルーツトマトの生育に必要なデータをセンサーで把握し、すべて自動で管理しています。



事業承継について 親子双方の立場から思うこと

正徳さん

若い人に興味を持ってもらうためには、まず「カッコいい」というような良いイメージが重要です。私はこれまでの農家のイメージをぶち壊したかったんです。

東京以西では若い人たちがグループで取り組んでいるハウス農家が多いのですが、ユニフォームを揃えるなどお洒落で、見た目も綺麗なイメージがあります。

そしてハウス栽培なら、早ければ3か月後には収穫ができて収入になります。果樹は始めてから収穫できるまで1年2年はかかってしまい、その間収入はなく、出ていく一方です。まずその時点で若い人は興味持ちませんよね。現実的でもありません。

まずは「やりたい」という気持ちにさせることでしょうか。若者の気持ちを変える、目を向けさせるというところから私はやってきました。

佐藤夏洲さん

親父の掲げている「今までの農家のイメージを変える」という想いに、若者として惹かれます。

あとは、すごく熱い気持ちを持って農業を手伝ってくれている同い年の友人が身近にいたので、その影響も大きいです。

同じ福島市内の達磨農園さんのこともYouTubeで見えて知っていました。若い世代で、しかも市内で、こんなにかっこよく農業をやっている人たちがいるんだと。近い年の人たちが活躍しているのを見ると、やはり感化されます。

今はまだサラリーマンなので休日しか手伝えませんが、僕も準備が整い次第、農業に取り組む予定です。



法人化と経営の効率化、 安定した収入を目指す

正徳さん

今後はもう少しハウスを増やしていきたいですね。そのためには人も増やして、ハウス1棟に担当を1人つけて、きちんと経営していきたいと考えています。そして、ゆくゆくは法人化したいですね。

granyuu-farm

住所: 福島県福島市上野寺字道下47

TEL: 090-1934-8603

営業時間: 9:00~18:00

詳しいストーリーは
Web サイトに
掲載しています! →



《取材協力》
中央: 佐藤正徳さん(父)
左: 佐藤夏洲さん(子)
右: 佐藤啓太さん
(夏洲さんの同級生)

